

企業名：松風(7979)

レポート名：統合報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

統合報告書から読み取った株式会社松風(以下、松風)が目指す姿は、海外市場における存在感を積極的に高め、日本だけにとどまらず世界中の歯科医療に必要不可欠な存在となることである。これは、松風の「創造的な企業活動を通じて世界の歯科医療に貢献する」という経営理念に適合した姿だと言える。約 100 年前の日本の歯科医療現場では欧米からの輸入品が使用されることが多かったが、その状況を変えようという志のもと松風は創業された。つまり、元来は日本市場を念頭に置いていたということだが、1970 年代以降海外進出を積極的に推進してきた。現在はグループとして 100 か国以上で自社製品を販売しており、海外売上高比率は 2021 年度 3 月期で 44.4%だという。すなわち、売上高の半分近くは海外市場におけるものということである。このように松風は海外売上高を伸ばしてきているが、統合報告書では「海外市場においては、当社の存在感を十分に示せておらず経営理念の実現に向けては、より一層世界の歯科医療への貢献度を高めていかなければ」¹ としている。また、代表取締役社長の根來紀行氏は事業規模で世界のトップ 10 に入ることを目指すと述べており、中長期的には海外展開の加速による世界の歯科医療への貢献を目標としていることが分かる。具体的には中期経営計画において海外売上高を 330 億円、グループ売上高を 500 億円まで伸ばすとしている。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

松風の競争優位性は、主に 2 つあると考えられる。

1 つ目は、独自技術と研究開発体制によって競争力のある製品を開発することが可能だという点である。松風は、これまでに歯科診療や歯科技工などの分野において多くの日本初、世界初を開発してきた²。大学の先生方と共同で研究を進めることで、多数の製品を開発してきたという歴史がある。

2 つ目は、ブランド力があり高いマーケットシェアを誇るという点である。特に人工歯類では 37.0%、研削材類では 46.3%の国内シェアを誇り、「業界のパイオニア」「技術の松風」との評価を得ているという³。

¹ 統合報告書 2021 | 株式会社 松風 <https://pdf.irpocket.com/C7979/xl10/tUMq/qu6v.pdf> (最終閲覧日:2022 年 7 月 18 日)

² 株式会社 松風の中途採用/求人 | 転職サイト Green(グリーン) <https://www.green-japan.com/company/7912#:~:text=%E3%83%BB100%E5%B9%B4%E8%BF%91%E3%81%8F%E6%AD%AF%E7%A7%91%E5%8C%BB%E7%99%82,%E5%8D%A0%E3%82%81%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E3%81%AE%E3%81%A0%E3%80%82> (最終閲覧日:2022 年 7 月 19 日)

³ 歯科業界の概況 -IR 情報- <https://www.shofu.co.jp/ir/contents/hp1631/index.php?No=1186&CNo=1631> (最終閲覧

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

近年の研究開発分野での動向から考えると、松風には競争優位性に持続性があると考えられる。松風は2009年に三井化学株式会社と業務提携を行っており、今後も製品開発に力を入れる姿勢がみられる。2020年5月からは三井化学株式会社及びサンメディカル株式会社との業務提携強化を図っている。三井化学は新規材料の研究開発に強く、松風は応用技術と製品化に強いいため、それぞれの強みを生かすことで開発スピードの向上につながるという狙いがある。このように、これまでの大学との共同研究と同様に新製品の開発の面では競争優位性が持続すると考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

松風は、海外展開の加速を推進するために人材教育に力を入れている。特にグローバル人材の育成に関しては推薦や選抜・応募によって英会話研修や社内TOEIC教育、海外子会社での研修などが設けられている。そのため、入社した場合グローバル人材として成長できる可能性があると感じた。階層別の研修もあり、役職に応じた内容の研修を受けられる点が良いと思った。また、女性やシニアが活躍できる職場環境作りにも力を入れている。根來社長は、近年外国人の採用にも力を入れており、国籍や性別に捉われないダイバーティの観点から採用していると述べている。グローバル人材となるための研修制度があり、社内がダイバーシティな環境であるという2点から自分を成長させてくれる環境が整っていると感じた。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

ここでは絶対評価と相対評価に分けて報告書の評価をし、改善余地について述べる。

まず絶対評価からであるが、統合報告書に対する私の第一印象は説明の文章が長めで文字が小さいということであった。図表やグラフなどを用いて分かりやすくなっている部分もあるが、図表内にも文字情報が多いため強調箇所が分かりづらいつと感じた。また、就活生としての視点であるが、人材育成のところグローバル人材や多様な人材(女性やシニアなど)の活躍について書かれているため、社員インタビュー的なものがある方が良かった。

次に相対評価である。ここでは、同じデンタル事業を展開するマニー株式会社(以下、マニー)の2021年度版統合報告書と比較する。マニーと松風の統合報告書の違いは大きく2つある。

1つ目は、情報量の多さである。松風は、マニーより統合報告書全体の情報量が多い。特に、ESG関連の情報に関してはマニーが4ページであるのに対し、松風は10ページを割いて詳細な説明をしている。情報量が多いという点は、文章が長く見にくくなるということと表裏一体の関係にありメリット・デメリットの両面を併せ持っている。図表内の情報量にも

差が見られる。マニーは図表において強調したい部分が明確であるのに対し、松風はフォントのサイズや配色にあまり差がないため、強調箇所が分かりづらい。

2つ目は、レイアウトや順序に関してである。松風もマニーも図や表の周囲に説明の文章を書くという点でレイアウトは共通している。しかし、ページ全体に占める図表の割合がマニーの方が大きいため、図表がより見やすいものとなっている。また、項目の順序に関しては、企業理念や歴史、社長の挨拶などが前半にあり、その後事業内容やビジネスモデル、コーポレートガバナンス等が述べられるという点は共通している。しかし、後半のESGの部分については、マニーがE・S・Gの順にESGにのっとして記載していることを強調しているのに対し、松風はG・E・Sの順序で述べている。ESGに関する記載であることもあまり強調されていない。

以上の絶対評価、相対評価をもとに改善の余地がある点についてまとめると、より強調したい箇所が分かりやすいレイアウトや図表、配色にするという点と文字情報を減らすという点、順序を分かりやすくするという点の3点が挙げられる。

参考文献一覧

統合報告書 2021|株式会社松風 <https://pdf.irpocket.com/C7979/xl10/tUMq/qu6v.pdf>(最終閲覧日:2022年7月18日)

株式会社 松風 の中途採用/求人 | 転職サイト Green(グリーン)<https://www.green-japan.com/company/7912#:~:text=%E3%83%BB100%E5%B9%B4%E8%BF%91%E3%81%8F%E6%AD%AF%E7%A7%91%E5%8C%BB%E7%99%82,%E5%8D%A0%E3%82%81%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E3%81%AE%E3%81%A0%E3%80%82> (最終閲覧日:2022年7月19日)

歯科業界の概況 -IR 情報- <https://www.shofu.co.jp/ir/contents/hp1631/index.php?No=1186&CNo=1631> (最終閲覧日:2022年7月19日)

MANI-IR2021.indd <http://www.mani.co.jp/pdf/MANI-IR2021.pdf> (最終閲覧日:2022年7月19日)